

「人と自然が向き合い、語り合うまち、須賀川」

～一人ひとりの個性が輝き、

「生きる力」を育む教育活動の推進～

☎0248-79-2180

ユネスコ世界平和作文出品から

大切なものを考える 5年 女子

今年のノーベル平和賞を受賞したパキスタンに住む16歳のマララさん。私はテレビでスピーチするマララさんの言葉の意味がよくわからず、本を読みました。「本とペンを持って闘いましょう。それこそが私たちのもっとも強力な武器なのです。一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして、一本のペンが世界を変えるのです。」世界には小学校に行けない子供が5700万人、その内、3200万人は女の子であること、パキスタンがそうした子どもが多い国の一つだということ、今も女の子が殺されたり学校が爆破されたりしていることを知りました。

私は当たり前のように小学校に入学し、毎日友達と遊んだり勉強したりしています。～略～だから、子供だとわかって銃を撃ってくる大人がたくさんいる国やそれが毎日当たり前のようにおきていることは全く想像できないし信じられないと思いました。

マララさんは自分自身がねらわれ、撃たれ奇跡的に回復した後も「女の子にも教育を、学校に通う権利を」とうったえ続け活動しています。もし、わたしだったらと考えてみました。まず、一度撃たれたら絶対に遠くの国へ逃げてしまうと思います。次はいつねらわれるかわからないし怖いからです。だけど、友達と離れるのは嫌です。家から出ずにビクビクおびえているかも知れません。何で自分だけこんなにも大変な思いをしなければならないのだろうか、早く助けてと欲してしまうと思います。それは逆にいうと日本にいる私たちは大人に守られ安全にくらしているからだと思いました。～略～

世界の子供たちが安全に暮らし学校に行けるようになることを考えて行動を起こさなければならないと強く感じました。～略～私たちができることは、まず、自分を知ること、鉛筆やノートを無駄にしないことです。嫌なことがあったとしてもそれを乗り越える勉強をしているということだと思います。だから、早く学校に行って友達に会いたいと思います。

おめでとうございます。

◎青少年赤十字 詩・100文字提案

優秀賞 あたたかい言葉のプレゼント

5年 女子

「いつもありがとう。」日ごろの感謝を両親に。

「おはよう。」気持ちの伝わる言葉。

「ごめんなさい。」悲しいけれど、

気持ちがスッキリする言葉。

こんな言葉で、人の気持ちが

あたたかくなったりする。

佳作 5年 男子

◎田善顕彰版画展

佳作 2年 女子

入選 4年 女子

◎福島県書き初め展(金賞24名 銀賞37名)

特選 1年 男子1名

2年 男子1名

3年 女子2名

4年 男子1名 女子1名

5年 男子1名 女子2名

6年 男子1名 女子1名

◎ユネスコ平和作文

優良賞 6年 男子1名 女子1名

○なわとび記録会

～低学年・高学年(1/28) 中学年(2/12)に実施～

子どもたちは、自分のできる技を披露したり自分の記録に挑戦したりしました。どの子も一生懸命練習し昨年より良い結果になりました。

○授業参観(2/13)

本年度最後の授業参観、学級懇談会、PTA役員会への出席ありがとうございました。子どもたちは、この1年間で学習面だけでなく体力面を含めて大きな成長をとげました。毎日、少しずつ伸びてきています。

【2月の行事】

18日(水) 新入生保護者説明会

25日(水) 学校評議員会